

1. 件 名 : 「日本原燃(株)再処理施設の事業変更許可申請(有毒ガス防護、廃棄物貯蔵系の共用)に係るヒアリング(12)」

2. 日 時 : 令和3年12月9日(木)13時30分~14時20分

3. 場 所 : 原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 審査グループ 核燃料施設審査部門

古作企画調査官、田尻主任安全審査官、上出安全審査官、藤原安全審査官、河原崎安全審査専門職、高梨安全審査専門職

日本原燃株式会社 鈴木 理事 再処理事業部副事業部長 他13名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和3年4月28日)

「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設に関する事業変更許可申請を受理」

https://www.nsr.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000081.html

- ・ 令和3年12月7日

「日本原燃(株)再処理施設の事業変更許可申請(有毒ガス防護、廃棄物貯蔵系の共用)に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	被害想定して参りました第1の事業の変更許可に係る申請に関するヒアリングを行いたいと思います。
0:00:07	本日も録音による対応を行いますので、開示情報等発言しないようにしてください。してしまった場合には速やかに申し出るようにしてください。
0:00:17	また発言に当たりますは所属とお名前を行っていただいた上で、発言の方をしていただくようお願いいたします。また発言がない場合には前にちょっとよろしくご協力よろしくをお願いいたします。
0:00:29	それではまず初めに規制庁側の参加者につきましてですが、Webからコサク調査官タジリ網でフジワラタカナシが本町会議室、河原崎で対応いたします。それでは日本原燃が出席者の紹介、紹介をお願いいたします。
0:00:46	はい、日本原燃のスガワラです。本日の出席者ですが、スズキ、
0:00:51	タカハシハマダからオクデ。
0:00:56	カメオカメトキ、タナカ、ツシマシモヤマササキ
0:01:02	イセダウルシド以上のメンバーで対応します。
0:01:08	規制庁タカナシです。ありがとうございます。それではまず初めに、日本原電の方からの資料につきましてPoint等々で構いませんのでご紹介をお願いいたします。
0:01:22	はい、日本原燃の遅れでございます。それでは提出12月7日に提出させていただいた資料について説明させていただきます。本件に関しましては再処理施設を揺るがす方法として4月28日に事業変更許可申請
0:01:39	出させていただいて以降、審査会合当然指摘事項に対して十分な回答ができなくて、審査は進んでないという状況に対して15日、11月15日の審査会合として、審査会合で原燃としてこれまで有毒ガス防護に係る検討プロセス見直しまして。
0:01:56	それを踏まえて有毒ガス防護措置をまとめ直しつつあるあるということの部述べさせていただきました。ですので本日はこの経営と見直し検討プロセスと、それを踏まえて今後どう進めていくのか、閉所について資料を用いて説明させていただきますたいと思います。
0:02:13	資料の2ページをご覧ください。
0:02:17	これまでの検討ではですね有毒ガスの影響評価ガイドっていったものをもとに有毒ガス防護というものを考えておまして、再処理施設の安全設計という枠組みの中に適切に取り込んだ形で有毒ガス防護措置というのを、
0:02:32	整理し説明するということができおりませんでした。ですので、ガイドでこう書いてあるとかそういったところではなくてですね再処理施設の安全設計の目

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	的、つまり公衆の被ばくを防止するためにどういった対応が必要かといった基本に立ち返ると、
0:02:49	いうところで整理し直すというところを考えております。公衆の被ばくといいますと再処理施設の状況に応じて設備は、それを監視操作する人で守るところですので、再処理施設の特徴を踏まえたと、
0:03:05	こういった対応する時にはですね、溢水とか化学薬品の漏えいと同じように、再処理施設の安全を確保するための対応、これを阻害するようなハザードの一つとして、有毒ガス防護措置っていう同額というのを想定しなければいけないと、このためですね有毒ガスが発生したときでも、
0:03:23	安全確保のための対応が阻害されることなく実施できることを確認するという、この基本方針に沿って有毒ガス防護を考えると、
0:03:31	いうところを考えております。資料の3ページを開いていただきまして、
0:03:37	ここから今述べた基本方針に沿って検討プロセスを考えるとどうなるかということについて説明させていただきます。まず安全確保のための対応を行うときに考慮するすべての有毒ガス、これを網羅的に抽出すると。
0:03:52	いうところが最も重要ですので、(1)ではそういうところをやるというようにしております。これまで数すいません。はい。
0:04:01	タカナシは申し訳ないんですけど、この説明って必要ですか。
0:04:06	中身の細かい説明までは必要はない。改めたから経常タカナシですね、中身の細かい説明までは必要ないですか。タナカのポイントになるところがあれば御説明いただければと思いますが、
0:04:19	コサクですその考え方のポイントっていうのがそもそもこの資料にはないような気がしているので、
0:04:29	もし言われるのであれば資料の書いてある内容じゃなくて、なんでここにこれ書いたのかどうか。
0:04:34	そういったところの
0:04:37	何ていいですかね、資料に現れていない考えてることっていうくらい置いていただいて、
0:04:42	早く議論
0:04:45	だほうがいいかなと。
0:04:47	思うので、原燃の対応として、
0:04:51	よろしくお願いします。
0:04:53	日本原燃のオクデでございます承知いたしました。ここでは一応やることを書いていますのでそこをなぜこういうふうにするというふうにして考えたかとい

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	うところポイント絞って説明させていただきます。まず(1)のところは先ほど言った通りまず網羅的に抽出すると。
0:05:12	いうところで(1)をやるんですか、それでまずやるべきは 番のところなんですけれども、尤度がそのものはすぐそれ自体持っているものもありますが、まずもってやっぱりコサクです。そういう話であればもう要らなくてですね。
0:05:31	ちょっと根本的に足りないところがあるので、もうその辺りの話をしたほうがいいかなという
0:05:39	所なので、
0:05:42	すみません、タカナシさんから。
0:05:45	いっぱいいただければと思います。よろしくお願ひします。規制庁タカナシです。そういうではこちらから少しコメント低下AOさせていただきますと思います。
0:05:57	こちらはまず2ページちょっと戻っていただいて、
0:06:03	まず最初のところで今回説明をいただく背景としてはそういったことをそこにも記載がありますけれども、これまでの進捗等も踏まえまして審査会合とか面談等でですね、日一度考え方を整理してですね。
0:06:19	それで改めてどう進めていくかということを考えていくという趣旨があったかと思ひます。その観点から言って見直しをしていただいたとは思ひんですけれども例えばこれは書きぶりだけの問題なのかもしれませんが、例えばこの1-2ページ目の三つ目の戸数が四角のところでは、
0:06:37	検討プロセスを見直すというような結論を結論のような形になっているんですが、これは今回継続とみなすこと自体はタナカと思ひますけれども、実際の見直し見直しそのものっていうのが最終的な結論になっているというようなことでしたかそれとも
0:06:54	そうではなくて何か違う
0:06:56	継続見直した上で何かAかA、こういうことをしてるんであればこういうことが足りなかったなということが痛いということだったのかというところをちょっと内等というか、考え方を確認させていただけますでしょうか。
0:07:09	はい。日本原燃のオクデでございます。今回の結論は検討プロセスを見直すというところではありますなくてですね、これまで足りなかったところを後改めてきちんと説明しなくてはならないと。そういったときにこの検討プロセスを見直した上で、
0:07:26	の足りないところはここでしたというところを説明するために検討プロセスを見直すというところをまず初めにありますという意味でここに記載されておりますし、記載してます。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:37	今回のこの説明でやりたいことはですね、今までも結果ばかりを説明していてその妥当性が確認できないというようなことも指摘として、言われたところもありますので、それが何でかっていうのを考えたときにこう言って、
0:07:59	考える基本方針っていうんですかねそこをきちんと説明できていなかったという、そういったものがありましたので、まずその基本方針となる検討プロセスをきちんと説明してご理解いただくとこれを第1にやってその上ですね、それに従って整理していくと有毒ガス防護措置の全体像というのはこういうふうになりますよと。
0:08:20	それを整理し直すと整理し直して申請書に反映すればこういうふうになりますので、それでもって審査お願いしますとそういったことを言いたいというふうに考えておりました。
0:08:38	以上です。
0:08:43	今どんなかおつけされました。
0:08:46	また日本原燃のオクデでございます。
0:08:49	ある。
0:08:51	規制庁コサクですけど、今、
0:08:54	オクデさんは説明がつく部分を終わったとっていてタカナシさんが反応しないので、問題は今日、
0:09:02	0ヶ月の背景みたいになってるんですねいたしました。
0:09:05	規程とタカナシで説明ありがとうございます今おっしゃられたことで要は等はどういうところが出なかったかのような検討もされているということではあるんですけども、そうすると下の
0:09:18	ここではおそらく検討分析なんてことも一つのポイントではありつつも、プロセスそのものを詳しく説明されるというよりは、まずそのそういうその吊りを通じてですねまずはその検討プロジェクトというのは継続率っていうのが再認識するとともに、
0:09:34	そういったそのどういう説明が足りなかったのはどういう整理が必要だったのかということについても向け明確にするっていうことが一つ必要なんじゃないかと思うんですけどいかがでしょうか。
0:09:49	日本原燃のオクデでございますねとそういったみでは組み直しをするっていうのが第1の一番の始まりだと思っていた部分もありますので、そういうような見直しといったタイトルに見直しというようなことも書いておりますが、これは目的ではなくて手段ですので、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:07	きちんとそういったも今おっしゃった目的は我々も認識しているところで、そういったところを一番最初にきちんと御説明させていただく必要があるというふうに認識しました。
0:10:22	はい。規制庁タカハシです。ちなみに今の件で、例えば
0:10:27	あかん具体的になると結構何かデータどんどんな感じでこの資料を直すというイメージのものっていうのはできてます。
0:10:40	通す。
0:10:43	すみません、日本原燃のオクデでございます。どういうふうに直すかっていうの2ページだけじゃなくてほかのページも含めてっていうところですかね。
0:10:51	ちょっと後ろのほうは少しまたちょっと
0:10:54	と思いますが、阿蘇全体も含めてあげたときに、
0:10:58	まずは、出だしの部分ですね、今言ったように受け取れるの見直しはあくまでも手段ということなので、それも含めて、どんなところに対してを説明するのかっていうところは少し
0:11:11	の管理について考えを理解いただければと思います。
0:11:14	日本原燃の小出です。そうそういう意味で言いますとですね3ポツで今見直すってこれが目的なに見えますので、ここの後ろのほうにですねこれをやったそうやって見直した検討プロセスを見直した上でですね。
0:11:31	検討プロセスに沿って改めてその再処理施設の有毒ガス防護っていうのを検討するというよりは、整理し直すっていうところになると思うんですけどそれを整理し直して、これまでの指摘事項も踏まえつつ我々としても説明が
0:11:48	この整理に基づく説明が不十分だったとか、時許可と整合しないような説明をしてしまっていたということが幾つかありますので、それを修正した上で、改めて説明しますというところが行っていかうかというふうに思います。
0:12:06	規制庁タカナシですありがとうございます。今おっしゃられたところで、説明なりでちょっと規則を踏まえないりなかったという点の話がありましたが、あそこまで資料具体的なことを開く必要はないとは思いますが、ある程度具体的なものというの、
0:12:26	今回の整理の中では出てきているという事という理解でよろしいでしょうか。
0:12:32	日本原燃のことでございます。そうですね今
0:12:36	検討している中でも、例えば
0:12:40	再処理施設っていうのは先ほど言った通り安全設計のための設計をしまして、それっていうのは、重大事故のときの設計等、設計基準のときの設計っていうのは必ずしも一致してないので、有毒ガス防護っていうのもそれぞれに合わせたような

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:56	措置が必要であるというふうにもかかわらず今までっていうのはあまりその時設計基準のときにはこういう状態になっていると想定されるからこういう工法対策をとりますと言ったところをきっちり整理して説明していなかったという部分があるので、
0:13:12	そこを説明したいと思ってます。日一番大きいところは、そこかなというふうに思っていますが、それ以外でもですね、例えば有毒ガスの発生原因、これが一番大事だと説明させていただきましたが、これも設計基準と重大事故で考えないといけない。
0:13:29	という6月っていうのは必ずしもイコールではありませんので、そういったところも説明が追加で必要かなと今までも全然全く考えていなかったっていうところではないんですが、その部分をきちんと整理した上で提示するっていうことができなかつたと思っていますので、それを
0:13:48	改めて整理するということをしてと思っています。
0:13:53	規制庁の間接ありがとうございます。細かいできないところまでが今回の資料2ということでは、先ほど申し上げたとおりないとは思いますがけれどもそういった検討されたいっていうことがですね、
0:14:06	上で今回の説明に至るということですね、わかるような修正というのをお願いしたいと思います。
0:14:14	(2)はこれです。すいません、ちょっと補足
0:14:18	というか、気をつけていただきたいことをお伝えをするとですね、
0:14:24	大体今の話のポイント。
0:14:28	わかっていらっしゃると思いますし、元の説明のところでもうオクデさんの言われた言葉で言われたことは非常に真っ当なことを言われていいいて納得感があつたんですけど。
0:14:42	期待でされている言葉が検討プロセスという言葉が非常に強くて、オクデさんの言われた安全のもともとの安全設計の考え方っていうのに基づいてっていうのが資料の中でちょっと書いてあるんですけど、例えばこのページだと。
0:15:01	三つ目の四角のところの最初に一般安全設計の目的に立ち返りと書いてあるものですね、結局それがそのプロセスっていう言葉に
0:15:11	だって、つぶされてしまっていると。
0:15:14	いうふうにこちらからは見えているということなので、安全設計のここでいう目的ですけど、あの設計思想とか、基本方針と
0:15:26	いったものがどういうものであって、
0:15:30	それの中にどうその有毒ガスが埋め込まれていっているのか。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:35	という全体構造ですね、今回説明いただければ十分なんです、どういうふう にその中で作業してますかっていうのはもう十分これまで聞いているので、
0:15:47	その思想さえはっきりすればあそこ今後見捨て持ってきてくれるのねっていう ところで田地一部理解ができると。
0:15:56	ということだと思ってますので、このページ京大自体が検討プロセスの見直しに なってますけど、そうではなくて、ある雨設計の考え方に立ち戻って再 整理を
0:16:12	それを更新ですと、
0:16:13	ということがわかればということなんです。よろしくお願いします。
0:16:20	日本原燃のここで打ってごさいます承知いたしました。我々も見直した内容と いうよりか、その全体としてこういう方向に進めていくためにこういうことをやっ ていくと、全体の中での有毒ガス防護措置の位置付けこれをきちんと
0:16:37	折り返していただくということが大事だと思ってますので、当そういうところが わかるように、
0:16:44	修正したいと思います。
0:16:50	そこです。よろしくお願いします。その上でですね、もう一つ、このページで気にな っているのは、有毒ガス防護に係ると最初のポツも有毒ガス防護措置 云々、
0:17:05	資格が囲みの中でも、有毒ガス防護の観点から、
0:17:10	いうので、全体像有毒ガスに限定せずにそもそも再処理施設ってどういう設計 のもとに、どう構成してるのかっていうのがいま見えなくて左側の赤四角 でそれを
0:17:25	示しているつもりなのかもしれないんですけど、余りに漠としてですね、この中 に有毒ガス防護の観点が床に埋め込まれるのかってわからなきゃいけなくて、
0:17:39	具体的に言ってしまうと、安全設計の中に内部事象に対する考慮、それによる 防護設計をどうするのかという考え方。
0:17:50	外部事象に対する同じく、考え方。
0:17:54	いうのがあり、その内数の中で、事故対応での設備を守るとかですね、いうこ とが入ってくるということなので、そういったところを分解をしてその時のそれぞ れの考えはこうだから、
0:18:10	その中に有毒ガスの考慮をこういうふうに出てきますよと。
0:18:14	いう。
0:18:16	関係性が見える必要があるだろうと思ってますんでこのページで言い切るの か次のページに振るのかって言うのはこの後資料作っていく中で考えていた

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	<p>できればと思いますけど、その点全体像っていうのをちゃんと見せるということ意識していただければと思います。よろしくをお願いします。</p>
0:18:36	<p>日本カミデのオクデでございます承知いたしました。今の部分はすべて実施できる設計という言葉で終わらせてしまっているの、そこをきちんと膨らませる形で見えるようにしたいと思います。</p>
0:18:55	<p>規制庁タナカです。ありがとうございます。ちょっと今の観点も踏まえてということで修正をお願いしたいということがあります。</p>
0:19:05	<p>あとちょっとスペック付け加えさせていただくとですねちょっと今の話からすると少し重要度は下がるというか少し細かい話になってしまうんですけども、要は今の話でそのプロセスのところちょっと強すぎる話もあって、</p>
0:19:21	<p>その辺から踏まえるとその次の34ページというところが非常に詳しく書かれてそこがポイントだというふうにお考えになられて帰って書かれてると思うんですけども、そういう話観点からいうと少し以降、そこんところが強調されてきているというのがありますので、まずこの点については、要は</p>
0:19:38	<p>これは以前から議論があったかと思いますが、要は見落としがないようにいわゆる網羅的にといいますかちゃんと1力ですね距離が近いところで検討していくということで個室を組んでいくというその流れで大きな流れがわかるようになってれば良いというところですので、</p>
0:19:54	<p>細かく例示していただくというよりは、そういった考え方の前ちゃんできる科医発生原因についても発生要因についても、或いは発生の</p>
0:20:05	<p>力といったものについても幅広く改善という全体をちゃんとしっかり考えた上で必要なものが不要でないものをしっかりご報告意味判断してですね、最終的に整理していただいて、そういったことがしそのようなものは仮でもいいと思いますので、</p>
0:20:22	<p>それとここが少し整理いただくページですね、その分、先ほどちょっと話はコメントはありました。絶対像の話ですとか、それからそこに融度拡張高めていくのかというところに、</p>
0:20:37	<p>少し御加えていただくっていうような感じにさせていただくほうがいいのかっていうふうに思いますがいかがでしょうか。</p>
0:20:47	<p>日本原燃のオクデでございますと3ページ目4ページ目ですねそういう意味だと実務的なといいますか、そのまさしく検討プロセスっていうところを強調し過ぎまして、実務のところ、いわゆるNIPPOのところ非常に多くなっていると。</p>
0:21:03	<p>というような印象を受けますのでそこは宍粟本音の部分を中心に記載したいというふうに思います。ですのでそうすると、具体、具体的な部分部分と</p>

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いうよりかはある程度抽象的な言葉になってしまうかなとは思いますが、
0:21:20	とにかく網羅的にきちんと調べ上げるという、そういったところを
0:21:27	読んでいただいてわかるような営業にちょっと修正したいと思います。
0:21:35	規制タカナシですが、ありがとうございます。確かに中枢抽象的になりすぎると赤字になる部分があるとは思いつつですね、逆にそのレジいいとか或いは具体的なところっていうのはですね、わかりやすくなる一方で、ちょっと後半見方によってはですね範囲を
0:21:52	限定され或いはの考え方がちょっと絞られてるっていうような見方をされるところもあると思いますので。うんところはね注意稟議しながらですね、整理していただくということかと思しますので、よろしく願いいたします。ちょっと少し具体的に申し上げるとですね、例えばちょっと
0:22:10	少し戻りまして2ページで言うと、
0:22:13	例えば左下の左、右の四角赤四角の中ではどうであると化学物質をくっつけていて、もうあるおそらく3ページ4ページではもうちょっと広い話になってるんですが、そのところがちょっと当市なんていうか、
0:22:31	ごめんなさい、整合がとれていないというようなところがあたりですね、或いは、3ページ目を向けにアートで3ページ目辺りですね。
0:22:40	書き出しのところではいろいろな化学物質や構造材だよといったような話も入っていながら、読み進めていくといて、化学物質との反応というようなところにオオハシが進んでいってるとか見えたりしてしまいますので、そういったところですね
0:22:57	し、十分検討されてると思いますので、JAB幅は
0:23:03	しっかりと全体を見据えてですね、やってるんだということをさ、先ほど申し上げた全体像なりところでもしっかりと説明しその上でどこを1ポイントがあるのかって説明になるような構成をお願いしたいと思います。
0:23:21	日本原燃のオクデでございます。承知いたしました。例えば今の例えばこの有毒ガスの発生メカニズムというところなんかですね、ここは社内のほうでもいろいろと検討しまして、
0:23:36	ここでのメカニズムっていうのは例えば一番上のポツなんかはこう漏えいして直接的にその影響を及ぼすようなもので下の三つっていうのは、その漏えいしたものがどンドンこう連鎖的連鎖的に兵教どンドンどンドン与えていくものってそういうような
0:23:55	これは重大事故でもそういった設計思想で重大事故というものを考えてたりしますので、そういうような基本的なものの考え方ですねそれ有毒ガスに当ては

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	めたっというような形で書かせていただいたのでちょっと具体的なりすぎてる部分があるんですけども、
0:24:12	そういった基本的な思想っていうところを書くような形にしたいと思います。
0:24:20	規制庁高まってる映像よろしくお願いいたします。区割り具体的に細かく検討されるということは必要なことですね実際にそういう背景があった上ですね、この記載よそ概要とかなどもまとめて記載していただければですね、説明の中或いはこちらから確認する段階でそういったところっていうのは、
0:24:39	確認できると思いますので、そういったそここのところの整理をした上での記載ということでよろしくお願いいたします。
0:24:48	コサクです。
0:24:51	結局これあのプロセスで書きちゃっているのだから細かくなってますけど、それは特に なんかは、これまでの会合でも説明されてますし、補足説明とかでも見ている話なので、説明する必要はなくてですね。
0:25:09	このページ、一番最初の説明でもありましたけど、DBとSAで考えてることが違っている点をちゃんと認識してっていうような話がポイントなんだろうと思うんですね。
0:25:21	さらに内部事象と思うのか、外部事象とかっていうところの整備もいろいろとこれまでお話ししましたけど、
0:25:29	そういったところの認識をちゃんと整理をして整理をしていきますということさえわかればいいので。
0:25:37	このページで書いてあるところと言うと の矢羽で書いてあるところがおそらくポイントなんだろうなと。
0:25:45	思っていて、その根本的な考えっていうところで、
0:25:54	今オクデさんが言われた
0:25:58	想定することの考え方っていうのを述べて
0:26:03	置くということさえあればこのページでいって欲しいことっていうのは、それで十分かなと。
0:26:11	いうふうに思います。メカニズムのこういうのもこういうのも考えますっていうのも、それもこれまである程度聞いてますし、今回の会合で具体的に
0:26:22	説明をするという必要はないかなというふうに思ってます。一方で、ちょっと
0:26:29	蛇足ですけど確認したいのは、実用炉のほうで廃棄物処理系のところでちょっと不具合があって換気系が動かなかったりといったときに有毒ガスが発生をしてて体調不良者が出たみたいな事象がありましたけど、
0:26:47	そういった事象をもうこの中で、
0:26:51	表現されてると思っているんですかね。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:55	日本原燃のオクデでございます。今のお話はおそらく日微生物で硫酸が分解されてって話の件だと思うんですけど、当位置を の中では通常プロセスという言い過ぎですが、そういったことも考えて
0:27:12	買う発生するような化学物質ってものを拾い上げた上で、 ですね、
0:27:21	ちょっと進まねえそういう意味だと発生要因にそこに必ずしも入ってるかというところちょっと見えにくいところはあるんですけど、一応そういったものも考えてこの中で整理を化できるというふうに考えてました。
0:27:35	はい、古作です。
0:27:38	表現ぶりとして微妙なところがありますけど想定破損と言ったり、
0:27:44	だろう。以上などかって言ったりというので。ちょっと見え隠れはしてはいるんですけど、
0:27:51	そういうのも込みでやられているということが今後補足説明とかで、
0:27:58	ここにできれば十分なので、
0:28:01	今回の会合としては先ほど言ったように、そこに繋がる大枠の考え方ということが示されれば、
0:28:11	日本原燃オクデです。承知いたしました。
0:28:18	規制庁タカナシです。
0:28:20	そして大筋低下大枠ではとりあえず私の方からの確認はどうなんですが、動か何かございますでしょうか。
0:28:37	コサクですタカナシが4ページも含めていいですかね。はい。
0:28:43	わかりました。コサクです。そうすると4ページなんですけど、括弧2のところも
0:28:52	要員設備とかってというようなことは、SAとDBで違っている。
0:28:59	で、しかもこのDBと言って私一言で言っちゃいましたけども、この記載だと平常時と事故時と分かれていて、
0:29:07	そのあたりをどう認識をして第2、
0:29:12	守るか。
0:29:14	何ができるようにするか。
0:29:16	ということの説明っていうのはやっぱり、この3分割なんですかね。
0:29:23	日本原燃のオクデでございます。基本的には平常時と設計基準事故時ええと、常時と事故時ですかについては中央制御室だったりそういったところで守るところなんですけども、設計基準事故とかあとはその、その前段階で、
0:29:43	異常な過渡変化とか、そういうのもありますけれども、そういったところでは場合によっては、現場で対応するというのは事故ごとにそこら辺を細かく変わっ

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	てくるというふうに認識してますので、単純にこの3分割で要員を3パターンですというようなつもりはありませんでした。
0:30:05	コサクです。そうだと思います。なので、どういうふうなことを守り、できるようにするかっていうことがわかるようにしていただいて、それがその大元の安全設計の考えということであって、
0:30:23	それを具体的に考えるといったときに、こういうようなオペレーターには操作ができるように防護具を配備しますとかっていうことが明示的に考えているということが伝わるように整理をしていただければと思うんです。
0:30:44	日本原燃のプレス承知いたしました。
0:30:49	はい、よろしくをお願いします。コサクです。そうするとですね、ここも(2)(3)(4)でプロセスとして再整理されちゃってるんですけど、今言った話でまとめて、
0:31:00	説明できるような気がしているので、考え方としてまとめうまく書いていただければと思ってます。
0:31:14	日本原燃オクデでございます。承知いたしました。
0:31:18	ちょっとすみません。(2)と(3)はですね確かに
0:31:24	(2)(2)と(3)なんかは、例えば有毒ガス防護対象っていうのは先ほどコサクさんがおっしゃった通り、大元として安全設計というものがあってその部分を順々に書き下していけば必然的に出てくる場所ですので、
0:31:40	有毒ガス評価をするときに、その設定どこでどういった対応するっていうのをもとに設定するということでは合体はできるかなというふうと一緒に説明は確かにできると思うんですけど、4番のところはちょっと
0:31:56	すみません私いままだピンときてない部分もあるので、そこをちょっと社内のほうで議論をさせていただきたいと思います。
0:32:10	はい、コサクです。今1ピンときてないというのは、おそらくあれですね、括弧2(3)をこうこうこういう影響について守る必要があるというニーズ系の話と、
0:32:25	それを守るっていうのをどうやって守るのといったところのつなぎっていうこと。
0:32:31	(4)の後半部分っていうことだと思うんですね。
0:32:39	ただ実態でいうと、
0:32:46	で、
0:32:49	はい。
0:32:50	ありますけど。
0:32:54	何となく違うなと思うのは違うんじゃないすみません、よくわからないのは、防護するための措置というふうに丸めてしまっているので、どういうふうかが結局あんまりなくてですね。
0:33:10	そのあたりを逆に言うと、もう少し

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:16	累計整理をして
0:33:21	(2)(3)の話との関係性が見えるようにするというので方向性をはっきりさせるということかなというふうに思いますんで、特に
0:33:33	基準なりガイドなりに縛られてしまったということから、衛星拋出金体で換気系というようなことに意識が向いてしまったけれども、そもそもは相殺なり何なりということがあってと。
0:33:48	ということなので、そちらのほうも意識すると、防護部ということも防護措置としてのメインになるでしょうし、その関係性がわかるようにしていただければいいのかなと。
0:34:01	思います。
0:34:05	以上です。
0:34:09	日本原燃のオクデでございます。ありがとうございます。今確かにおっしゃられた通り防護措置っていうところ具体的に書いてないので何かわかって(2)と(3)との繋がりがわからないようになった記載だからちょっとぴんとこなかったんですけれども今おっしゃっていただいたように、
0:34:27	考えれば括弧4も(2)と(3)の続きの中で説明できる話ではありますので、ちょっとそこら辺うまい具合に表現できるような形で整理したいと思います。ありがとうございます。
0:34:42	はい、古作ですって、その上で1点これまでお話ししたところで、今持って釈然としないのが残っているので、確認しときたいんですけど。
0:34:55	これ(3)で影響評価と言ってますけど、影響評価で考慮をしている。
0:35:03	スクリーニングを含めてですけど、考慮しているものの扱っていうのをどう整理するのかといったときに、換気系は作動することを期待してますよねとか、
0:35:15	いうのを話をしていたんですけど。
0:35:20	結局どういうふうに扱う。
0:35:25	のっかって、
0:35:27	その適切性みたいなところがいまいち釈然としなくてですね。
0:35:35	それが
0:35:38	そう単位とかっていう話になると、実際に発生した場所の濃度ってというのはどの程度に抑えられるのかとか、それに対応した防護具になってるのかと。
0:35:51	言ったような話にもなると思うんですけど。
0:35:55	そのあたりはどうなってますか。
0:36:01	日本原燃のオクデでございます。ですねあの正直なところを言いますとその部分についてまたきっちり我々の中で、か明快に説明できるような整理はちょっとまだできてないというのが実情です。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:17	もともとは有毒ガスが影響評価ガイドに縛られておりましてその中でも、単一的に換気設備は生きるんだというような
0:36:27	説明をさせていただいてたんですが先ほどもありましたけども、必ずしもその重大事故設計基準平常時それで同じような条件とはならないってところがありますので、そこはちょっとまだこの段階で、こういうときにはこうですというのは説明できないんですけども、
0:36:43	きちんと整理した上で
0:36:46	今後説明していきたいというふうに考えております。
0:36:51	はいわかりました。言われるように、平常時工事設計基準事故時重大事故時等の機能喪失を想定する程度かというか違って、
0:37:07	それに応じて安全設計でこういう
0:37:12	健全性確保の対応しているんで、この機能は見込んだ上で、今後措置を講じますということがそれぞれいえるようになってるんだと思ってます。なので、側溝をちゃんと整理をしてですね。
0:37:28	元の関係というのはこういう設計だものでこういうふうに見込んで、この場合には条件出しをし、
0:37:37	それぞれの防護設計の前提条件にしますと、
0:37:41	というようなことをちゃんとまとめていただければと思いますので、
0:37:45	それも結局は
0:37:47	この前のページだったり、このページで対象なりという応募まで必要と思うかと。
0:37:55	いったことの考えの中で説明できることだと思いますので、考え方をまとめていただけて具体については今後整理して説明いただければ。
0:38:05	いうふうに思います。よろしく申し上げます。
0:38:09	日本原燃遅れです承知いたしました。
0:38:16	規制庁タカナシです。ありがとうございます。
0:38:20	こっか何かございますでしょうか。
0:38:28	それで、1点ちょっと精度が上がって、私からちょっと今の話でちょっと少し、それ違うかもしれませんが、今の資料で総務省にさらになんかごく一部のあのフローがついてますが、これまでコメント或いは議論も踏まえまして、多分あって、
0:38:45	あまり必要性がないのかなってような感じもあるんですが、その辺りのところいかがでしょうか。
0:38:53	日本原燃のオクデでございます。もともとこの5ページ目のところはですねこの3ページ目と4ページ目の中身を詳しく説明する時の参考として具体的に

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	今まで説明してきたところとかを考えるとこうなりますよというところを書いた ものですので、
0:39:11	そもそもの3ページ目4ページの説明すること切り口が違うという違うというふ うに認識しておりますので、5ページ目以降は今後の、今後は不要だというふ うに考えてます。
0:39:27	経路と仮設わかりました。これまでの中で資料もちょっと変わって資料とずっと 集めるのは見たように見えていましたので、そういうことであればですね、その 前必要ないということであれば、それそうそうちょっといただければというふう に思います。
0:39:45	日本原燃オクデ承知いたしました。
0:39:51	はい。規制とタカナシです。その他、何か確認、期待しておきたいこと或いは確 認漏れなどがございましたらよろしくお願いいたします。
0:40:01	コサクですけど、先ほど話をしたところでまた整理ができてないというの話も ありましたが、
0:40:09	とりあえず今回その全体としてどう考え、
0:40:15	安全設計として考えていてその中で有毒ガスっていうのはどういう位置付けで あり、具体的にどういうことを考えていくかと。
0:40:24	いうことのが医薬の説明をいただいて、その考えがよければ、具体を整理し直 していくという作業に入るとのことですけど。
0:40:38	今後の作業の見通しみたいなのっていうのは何か考えておられます。
0:40:49	日本原燃オクデでございます。ですね先ほども少し申し上げた通り今の段階で まだこの部分を説明足りてなかったなっていうところは二、三出てきてるんで すが、まだ全部出てきてないっていうのと、あとそれを
0:41:05	今後は衛生そういったものを整理し最終的には整備資料という形で整理した 上で御説明したいと思ってるんですが、そのどのようふうに直すかというのも 実はまだはっきりしていないというところもありますのでちょっと具体的な時期 っていうのは、
0:41:22	すいません我々のほうでまだスケジュール引けてる状況にはなっておりませ ん。
0:41:31	コサクです。わかりました。そうすると、この考えのもとに、
0:41:38	一通り、再確認をして改めて計画を立てて説明していきますという大枠だけの 説明になるっていうことのように認識をしました。ただ一方で、実際ので言うと、 これまでお話ししたように、
0:41:57	既許可で整理をした整理しようというのをもとにあって、関連する場所があると いうことはもう認識をされていると思いますので、その中に、

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:08	埋め込む内容というのを先ほど言われたように、こういうことも入れるべきだろうというところをどんどん入れていくという作業だと思うのですが、認識としてはそういうことでいいですかね。
0:42:22	日本原燃オクデです。人敷地としてはそうですねまず支店と今回やっていくところその全体像がこうで有毒ガスがこういうふうに入ってきてそれをどう考えていきますというのをきちんとこちらからちゃんと説明できるようになって説明させていただいた上で、
0:42:41	その次の段階でそれは先ほどおっしゃっていただいた通り、その整理資料の関係あるところに必要な分、今まで足りなかった分高埋め込んで完璧なものにすると、そういうような流れは、その次の段階で計画を示していただく際お示しさせていただくと。
0:42:58	そういうようなことになると思っています。
0:43:03	はい、即日、それで言うそうですね、先ほども少し話題にしたように、
0:43:11	平常時というかDBの世界の中でどういう防護策を講じるかといったときに防具ってというのはもともとあると思ってそれについて、
0:43:27	少なくとも化学薬品防護のところは、
0:43:30	あるんだと思いますし、
0:43:36	外部事象についてもトレーラーとかはあるわけで、それらについても、もともとあって、そういった説明を
0:43:49	ガイドに縛られずに入れていくということ。
0:43:53	それを記載の適正化の関係から申請書にはどこまで書きましょうかということの話。
0:44:03	いった辺りがポイントかなと思います。さらに先ほどお話をした評価で見込んであるっていうのを使いというようなことでというふうになってたんですけど。
0:44:13	そういう意識でいますので、次の段階で、そういった具体的な議論ができるようにササキまして、
0:44:26	はい。日本原燃のこれです承知いたしました。融度川数の赤穂ホカ僕の扱いについては、我々も検討整理が必要だと思っただけで、もともとなかったものを立ちますというような話ではないと思っていますので、
0:44:41	どういったときに使うのかっていうのももうちょっとちゃんと明確にした上で、じゃあそれをどこまでその申請書に書くかっていうのを整理して説明させていただけたらなというふうに思っています。
0:45:01	規制庁タカナシです。
0:45:03	ちょっと今、今ちょっとスケジュールっていう話が出てきたのでちょっとそれに関連しているんですけども一つは今回今お話をした資料のほうで少し大幅な

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	修正になるのかなというふうにも思うんですけども、そちらのほうの、まず一つ見通しですね。
0:45:22	というのをお聞かせいただきたいのとあともう1点は今の話の中で、今後
0:45:27	今後またいろいろ整理した上で、計画っていうのを示していただくということなんですが、通例に対してこうどれぐらいこう、巻き上げ作業規模とか10時間がかかりそうかというのをイメージのようなものもあれば、それはちょっと教えていただければと思います。後者のほうは、今この場でということではなくて少し整理した上でということでも、
0:45:47	いいかもしれませんけれどもお考えがあればお聞かせください。
0:45:52	日本原燃のオクデでございます。まず全体像のところの説明させていただくところはですね、社内でもきっちり整理した上で提出しないといけないと思ってますので、確実にいつまでっていうのはちょっと今の段階では言えませんが目標という形で、
0:46:11	言わせていただくことであれば、我々としては
0:46:16	次にですかね次の審査会合のときにはそういった説明をできればしたいというふうに思っていますので、今回いただいたコメントに対する修正っていうのは、来週の早い段階月曜火曜までに再提出させていただくというようなことを考えておりました。
0:46:35	すいませんそれ以降のcup整理しろに埋め込んでっていうそういうフェーズの話についてはまた別途ちょっとお示しさせていただけたらなというふうに思います。
0:46:48	はい。規制庁タカナシです全停と今後説明の話につきましては、当然まだ検討しなきゃいけない部分っていうのがあると思いますので、それはあの絵として、しっかり限界を主体としていただいた上でですね、改めて御説明ないご確認させていただければと思いますのでそれで構いません。
0:47:05	むしろこの資料のほうですねにつきましては来週の早い時期でということなのであれで対応のほう、速やかによりしくお願いいたします。以上です。
0:47:17	日本原燃遅れる承知いたしました。
0:47:26	規制庁タカナシです。その他、何か規制庁側或いは健全側からでも構いませんけれども、何かございますでしょうか。
0:47:35	日本原燃オクデでございます。先ほどの目標というような形でちょっと曖昧なことを言ってしまったんですけども、進捗状況なんかは適宜共有させていただきたいと思いますのでよろしくお願いたします。
0:47:52	経常タカナシ承知いたしました。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:57	また規制庁タカナシです。その他、何か確認漏れ或いはちょっと聞き漏らし等ございましたらよろしくお願いいたします。
0:48:18	データのタカナシです。よろしいければですね、本日のヒアリングにつきまして、ここで終了ということをご希望したいと思いますがいかがでしょうか。
0:48:35	長いスズキでございます。はい。
0:48:39	はい。それはそれで結構でございます。
0:48:43	はい、定常の話ですありがとうございます。それでは本日のヒアリングは、これで終了といたします。

- 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。